

# 沖縄に米軍基地はいるの？

四月二十五日、米軍普天間基地の閉鎖・撤去・県外国外移設を求める沖縄県民集会には九万人もの人が集まりました。大会では、四十一の全市町村の首長に加え、仲井沖繩県知事も出席し、文字通り島ぐるみの「新基地反対」集会となりました。

ところが、五月四日鳩山首相は、仲井知事に「県内移設」と鹿児島県徳之島への一部移設という政府方針を伝えました。これは、昨年の総選挙で「（移設は）国外、最低でも県外」という公約を破り、沖縄県民や徳之島住民の「反対」の総意を踏みにじったものです。そもそもアメリカ軍海兵隊とは「なぐりこみ部隊」と言われ、先制攻撃を任務としています。鳩

山首相は、アメリカとの同盟関係・近隣諸国との関係の「抑止力」として海兵隊基地を沖縄県からすべて移すことは難しいと述べていますが、海兵隊の存在がアジアの近隣諸国に緊張をもたらしているのではないのでしょうか。

日本のどの自治体も、新たな米軍基地を引き受けるところはありませんか。本場に米軍基地が必要なのかが、今問われているのではないのでしょうか。

また、在日米軍に対する「思いやり予算」は、三十年間で二兆円を超える額となつていきます。軍人とその家族が住む住宅は、一戸四千八百万円平均となつており、それを日本国民の税金でまかなつている一方、長期間の住宅ローンで我が家を手に入れる日本の勤労者

の実態があります。

米軍基地を提供する根拠となつている「日米安保条約」第十条では、日本とアメリカのどちらか一方が通告をすると、一年後に条約が終了します。

日本の平和と安全、世界の平和と安全が二国間の軍事同盟で保つことができるのか——基地問題とともに、安保条約が必要かどうかを考えていかなければならないでしょう。

みんなで参加しませんか？

六・四沖縄連帯・安保破棄  
大阪集会

日時 六月四日（金）  
午後六時半

場所 中之島中央公会堂

全教

2010年5月10日  
NO. 452

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/

# とよなか

全教豊中教職員組合

## 豊中市長選挙

### どう見る

4月25日おこなわれた豊中市長選挙は現職の浅利敬一郎氏が当選しました。

全教豊中は「あかるい豊中市政をつくる会」の構成団体の一つで、今回、堀田あけみ候補を擁立しました。

### 弱者をおいこむ市政

あかるい会は2月に市民アンケートを市全域に配布しました。切実な声が二千通近く返ってきました。高齢者や自営業者などからの「介護保険の負担が重すぎる」「国民健康保険料の負担を軽くしてほしい」といった声が、アンケートの7割にものぼりました。「保険料が払えなければ窓口で相談お越し下さい」と書いてあったので行ったら、『もつと払えないか』と言われるばかり、市役所に行くと気持ちが悪く落ち込む』との声にあるよ

## 豊中市政！

うに、本来市民のくらしを守るべき市が、社会的弱者をさらに追い込んでいく市になっています。

### オール与党いなしの市長

#### ——市民派議員も批判

浅利市長は、当初は「政党の推薦は受けない」といつつ、橋下知事が市長選挙で対立候補を擁立してくることをひたすら恐れ、伊丹空港問題でも全国学力テスト問題でも主体性のない態度をとり続けました。

ところが、橋下知事と会談（4/5）し、知事派候補が出ないとわかると、国政では対立している自民・民主・公明・社民推薦を前面に押し出して選挙戦を展開しました。

選挙中に演説会で木村真織員（市民派 無所属）は「浅利市長は自分の考えをもつ

ているのか。浅利さんが、どういう市政をめざしているか。理念、考え方もわかりません。そして、「オール与党」のもので、ほとんどの議案が右から左へ通過していく。そんな議会はいりません。国では自民と民主が激しい対立のようにみえるが、市議会は自民、公明も、民主、社民もなかよし。これを何とか打破しないと閉塞感が破れません。」と訴えていました。

浅利市長は選挙戦でも北摂一高い国民健康保険料を見直すのではなく言い訳にまわりました。若い世代の子どもの医療費助成の充実や待機児童解消のため保育所を増やしてほしいといったことにも具体的などりくみが見られません。

### 教育費の比重さがる

#### おとなり吹田は12%

「財政が厳しい」「予算がない」いつも学校現場で聞く言葉です。教育長出身という

ことですが、教育費も全予算に占める割合が8%台になっています。しかも、その予算も「学力向上のための独自教材開発」（三百万円）、「学力向上自主企画事業」（三百万円）など「全国学テ」対応の予算化がなされています。

### 教員人事権委譲問題

#### ——市教委も知らない

各新聞報道されている豊能地域の人事権委譲問題でも3月末時点で山元教育長は「まったく聞いてない」と全教との懇談で話していました。新聞報道によれば5市町の首長は「意欲を示し」ているとのこと。知事による大阪府解体、教育委員会制度解体の方向の危険性のあるものです。当該教育委員会が知らないです。んでいることは大問題です。

今後も、全教豊中はしっかりと豊中市のあり方を注視していきます。

# 二つのデモ・パレード 晴天の下、元氣よく行進!

## 第八十一回

### 豊能地域メーデー

五月一日は、メーデーです。第八十一回豊能地域メーデーが大門公園で開催されました。

九時三十分から約一時間、主催者あいさつや争議組合の裁判闘争の訴え、中小零細商店主の厳しい生活の現状などの報告がありました。どれも、現実を反映したもので切実です。私たち教育労働者も賃金カットの連続で、くらしに余裕がなくなつてきています。

集会の最後に集会宣言を全教豊中教組木田副委員長が提案し、採択されました。「『貧困と格差の是正。安心できる社会制度の充実。核兵器のない世界の実現。ストップ地球温暖化。安定した雇用確保。国民本位の

政治の実現。』を呼びかけます。」(採択されたメーデー宣言より)

その後、二百人の隊列で市民会館までデモ行進を行いました。

参加した人は「平日のメーデーは、なかなか参加できないけれど、今年は土曜日なので参加できました。いろんな職種の労働者と連帯するのは元気がでます。」と話していました。

### 憲法記念日に

みんなで歩こう!

豊中市民パレード

一方、五月三日は憲法記念日で、恒例の「豊中市民パレード」がありました。百五十人の参加者で、市役所まえから豊中駅まで賑やかにパレードをしました。「憲法九条は世界の宝です」

「政府は、憲法九条を守れ」などシュプレヒコールしながら歩きました。今年で五回目となるこのパレードには、小学生から年配の方まで本当に幅広い市民が参加して、平和憲法の大切さを道ゆく人にアピールしました。

全教豊中教組の組合員の

参加者と共に退職教職員の方々の元氣な姿もありました。

### 平核兵器廃絶・平和を訴える宣伝行動

五月十一日(火) 六時～六時三十分 豊中駅

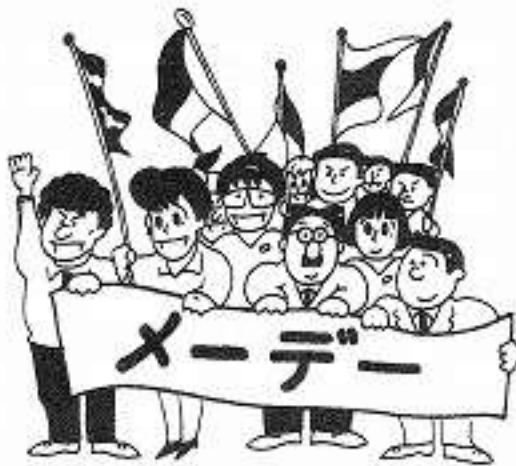
六月九日(水) 六時～六時三十分 豊中駅

七月二日(金) 六時～六時三十分 豊中駅

七月七日(木) 核廃絶をめざす平和行進

八時三十分～九時 集会 豊中市役所前

その後、池田市役所まで行進



連続教育講座「POWER UP講座」第2回

わかる算数・たのしい算数 パートV

何森 真人さんのお話

さゆえに

のよう  
に便利

に奥が深く、これからも講

座に継続的に参加してたく

さん勉強していきたいと思

います。(1年目男性)

「(折り紙を折って穴をあ

けて開き円を作る実践で)

折り間違えたり失敗したり

した子には、「もう一度作

りなさい」ではなく「これ

あげる」と用意しておく；

発達障害の子らは、そうい

うところでやる気をなくし、

こちら「この子は最後まで

でがんばらへん」と決めつ

けてしまいがちです。算数

を教える技術だけでなく、

何森先生のような、そん

う配慮ができる教師になっ

ていきたいです。(支援担

当女性)

ただ、講座終了後も、何

森先生の周りにはたくさん

の参加者が残って質問や相

談をする姿がみられました。

5月1日、福祉会館

で「わかってできる算数の  
授業づくり」講座を開催。  
連休初日にもかかわらず、  
30名以上の参加者がありま  
した。



前半は、模擬授業を交え  
て、削り過ぎた「マズイ」  
現行指導要領、スパイラル？  
重視の「妙な」新指導要領  
の問題点を明らかにしなが  
ら、その中で目の前の子ど  
もたちに合わせてかしくく  
したたかにカリキュラムを  
作ること、教材の本質をと  
らえる授業づくりについて  
お話いただきました。

後半は、「するするタイ  
ル」「台ばかりのメモリづ  
くり」などの、楽しく理解  
を深める教具や、電子黒板

6年までの各学年からの質  
問に答える中に、世の中の  
ことがらを科学的にみてほ  
しいという、何森先生の、  
数教協の思いがあふれてい  
ました。

参加者からは、「2時間  
以上話を聞いて、眠くなら  
なかった講座は久しぶりで  
す。何森先生の話す内容が  
頭の中に入って、グルグル  
と私の脳みそを刺激した気  
がします。(4年目女性)」

「算数の指導って楽しいん  
だな、と思うことができま  
した。教育というのは本当